家庭数配付

保護者の皆様

令和8年（2026 年）9 月 30 日

札幌市立西岡南小学校
校 長　小川 泰弘

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年4月 23 日、全国の6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査は、6年生の学力と学習状況を把握するために実施されています。今年度の内容は、「国語」「算数」「児童質問紙調査」となっています。

この調査は、6年生の4月段階での学力の傾向を示し、学習内容を把握することで、本校児童の傾向を推しはかる上での重要な資料となるものです。



【国　語】　本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

【学習指導要領の領域等】
- ◆【知識及び技能】の「（1）言葉の特徴や使い方に関する事項」は、ほぼ同程度であるが、全国平均をやや下回っている。
- ◆【知識及び技能】の「（2）情報の扱い方に関する事項」は、全国平均を下回っている。
- ◆【思考力、判断力、表現力等】の「話すこと・聞くこと」は、ほぼ同程度であるが、全国平均をやや下回っている。
- ◆【思考力、判断力、表現力等】の「書くこと」は、全国平均を下回っている。
- ◆【思考力、判断力、表現力等】の「読むこと」は、全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

「（2）情報の扱い方に関する事項」
- 考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること。
  ＝文章の一部に続く文として適切なものを選択する。

「書くこと」
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
  ＝文章の空欄に入る内容を集めた情報から抜き出して考えが伝わるように書く。

改善の方向

「（2）情報の扱い方に関する事項」
- 自分の考えについて具体例を想起したり、自分の考えと具体例を正対することができるように、教師や友達と交流したり、読み手の立場に立って振り返ったりする機会を設定する。

「書くこと」
- 引用する目的を明確にし、本や文章などから必要な語句や文を抜き出して書くことが重要である。原文に正確に引用することや、引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことを大切にする。

児童の学ぶ様子と結び付けて考えると・・・

本校の児童は、考えを伝えたり、友達と話し合ったりすることを通して、考えを深めたり、広げたりしながら学んでいる。その一方で、自分の考えが伝わるように、本や文章から必要な語句や文を引用し、書き表すことには、やや苦手意識が見られる。引用した部分と自分の考えとの関係を明確にし、区別して書くことができるような学習活動を積み重ねていく。

【算　数】　本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

【学習指導要領の領域等】

◆「数と計算」は、全国平均を下回っている。
◆「図形」は、全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。
◆「測定」は、全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
◆「変化と関係」は、全国平均と同程度であるが、やや下回っている。
◆「データの活用」は、全国平均と同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

「数と計算」
・数を四捨五入して概数で表すこと。

「変化と関係」
・百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めること。

「データの活用」
・二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。

改善の方向

「数と計算」
・四捨五入は、ただ切り上げる・切り捨てると覚えるだけでは迷いやすいため、どの位までの概数にするかを確認し、その位の１つ下の位を見て判断する流れを繰り返し練習し、習得できるよう工夫する。

「変化と関係」
・言葉の式を覚えるだけでなく、数直線や線分図などを用いて数量関係を表す活動を学習に取り入れることが大切である。

「データの活用」
・表の列名や行名の意味を押さえて、条件を１つずつたどり、行と列が交わる１マスを根拠付きで読むことができるようにすることが大切である。必要な数値を落ちや重なりなく取り出すことができる力が付くよう工夫する。

児童の学ぶ様子と結び付けて考えると・・・

本校の児童は、図形の学習（作図や計算によって体積を求める）に意欲的な傾向が見られる。その一方で、数をおよその数で表すことや百分率をもとに立式することには、苦手意識をもつ児童が見られる。学習場面では、これまでの学びを生かしたり、関連付けたりしながら考え、解決に向かうことができるような体験を大切にして、必要な力を育てていく。

【児童質問紙】　生活・学習の様子

今回の調査では、７３項目にわたって生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、本校児童の回答の中で、比較的肯定的な回答が多かったものと低かった項目を中心にお知らせいたします。肯定的な回答については、今後も伸ばしていけるようにしていくとともに、否定的な回答については、学校と家庭が一体となって子どもたちに望ましい環境づくりを行うなど、工夫して取り組んで参りたいと思います。

肯定的な回答が多かったもの	否定的な回答が多かったもの
○朝食を毎日食べていますか。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ○人が困っているときは、進んで助けていますか。 ○いじめは、どんな場合であってもいけないと思いますか。 ○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ○友達関係に満足していますか。 ○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。 ○国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに、役に立つと思いますか。 ○算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに、役に立つと思いますか。	▼新聞を読んでいますか。 ▼今住んでいる地域の行事に参加していますか。 ▼5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが伝わるよう資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。 ▼これまで学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか。



この他に「自分には良いところがある。」「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」という項目も、肯定的な回答が多く見られました。６年生の小学校生活は、残り半年です。中学校進学に向けて、自分のよさを感じ、友達との関わりを深めながら、学びを積み重ねていけるように支えてまいります。